

3年次がスタートしました。例年よりもかなり遅咲きの桜が街のあちこちで綺麗に咲いており、新しい年度の始まりを応援してくれているようです。今年はいよいよ大切な進路を決めることになります。一人ひとりが目標と目的意識を掲げ、友達と切磋琢磨しながら夢の実現に向かって努力してくれることを担任団一同応援しています。そのためにはまず、心身ともに健康であることが大切です。長い受験勉強を乗り切るには勉強に対する強い気持ちだけではなく、毎日継続する力（体力）や失敗に対してへこまない精神力も必要です。本当に疲弊している時には休息を入れるのも大切なことですね。自分のペースをつかむことを意識しながら新学期を過ごしていきましょう。



■進路決定までの流れ■ 担任やCG部からの連絡をしっかり聞き期限を守って動くこと。出願などの手続きに関しては、1分1秒たりとも「遅れ」は許されません。勉強で忙しくなると余裕がなくなって周りが見えなくなりがちですが、人生を左右する大事なタイミングですので慎重に計画・準備していきましょう。

進路先	四年制大学 (短期大学)	専門学校	就職
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・日本学生支援機構 奨学金説明会 ・目標校・受験方式・学部学科決定 ・オープンキャンパスに参加 ・部活引退・本格的な受験勉強へ移行 ※総合型選抜の場合、小論文・志望理由書・面接対策を開始 ※英検など必要な資格取得を済ませる 	<ul style="list-style-type: none"> ・奨学金説明会 ・オープンキャンパス参加 ・1校に絞らず比較検討 ・資格や学費条件の確認 ・受験方式をどうするか ・就職実績までよくチェック ※看護は面接対策の自己分析 	<p>希望する業種・職種について検討</p> <p>面接におけた準備 遅刻欠席早退注意 筆記試験対策</p>
夏休み	<ul style="list-style-type: none"> ・家族会議、三者面談で方向性決定 ・最終的な学校見学 ・とにかく勉強時間を確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族会議、三者面談で方向性決定 ・最終的な学校見学 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族会議 ・三者面談 ・自己分析、勉強
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・9月上旬～指定校推薦校内選抜→面接練習→11月面接試験 ・9月末～共通テスト受験手続き ・総合型/推薦選抜に向けた準備(小論文・面接練習・レポート等) ・11月一般受験出願校計画(面談) ・勉強が一番きつい時期(メンタル) ・出願タイミングで出費はじまる ・進路決定先から課題がでる学校も 	<ul style="list-style-type: none"> ・募集を早く締め切る学校があるので募集期間に注意 ・営業にあおられて安易に学校を決定しないよう注意 よく比較検討して学校選択する ・推薦選抜→その後一般選抜手続きの条件をよく読む ・面接準備(自己分析) 	<ul style="list-style-type: none"> ・面接練習 ・就職試験
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入学共通テスト受験(1/18-19) ・私立大学一般選抜 出願・受験 ※私大選抜は1月末～2月半ばまで(出願忘れ、発表確認、入金忘れがないように保護者の協力が必要) ※Web出願(クレジットカード決済・プリンターで受験票印刷・通信環境整備) ※共通テスト後は家庭学習期間(登校日を数回設定) 	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期中に未決定の場合、定員に満たなければ3学期に出願も可能。 ・出願忘れ、発表確認、入金忘れがないように保護者の協力が必要。 ※Web出願(クレジットカード決済・プリンターで受験票印刷・通信環境整備) ※共通テスト後は家庭学習期間(登校日を数回設定) 	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期中に就職先が決まった場合、社会人として必要なマナーの勉強や業務に必要な資格取得などを各自で進める ※共通テスト後は家庭学習期間(登校日を数回設定)

■奨学金説明会■

例年4月下旬に、芦花高校で日本学生支援機構の奨学金説明会（生徒向け）が行われます。これは来年の4月以降に支給される奨学金に応募したい人向けの説明会となります。生徒本人が資料を受け取って説明を聞いたあと、資料を持ち帰って保護者と相談し後日申請をするものになります。家庭の世帯収入や生徒本人の成績状況によって、給付型・貸与型（有利子・無利子）コースに分けられます。進学に際して奨学金が必要な場合、説明会に行き資料をもらうことからスタートしましょう。

なお、芦花高校在学中に進学先への支払いが必要なお金（受験料、入学金、前期の学費）の貸付は、保護者名で銀行の「教育ローン」を借り入れることになります。このあたりの話は、高校生の皆さんには難しい点も多いと思うので、必ず保護者の方に必要の有無を確かめておく必要があります。

★4月20日（土）に行われる3年次保護者会では（株）進路企画にお越しいただき、学費や奨学金に関する保護者向け説明会を9:00~9:40の予定で行います。お金に関する情報に不安がある場合は、是非ご参加をお願いします。（詳細は、3月25日に配布済みの「保護者会のお知らせ」をご確認ください）

■2025（R7）年度入試＝「新課程入試」の初年度■

皆さんは2025年3月に芦花高校を卒業し、4月に新しい学校に入学しますので、「2025年度入試」と呼ばれる試験を受けることになります。この「年度」の呼び方が慣れない人も多いと思いますが、「2025年度に入学するための入試」と思えば良いですね。皆さんは「新課程」と呼ばれるこれまでとカリキュラムが少し異なる世代になりますので、入試にもいくつか変更点が出る変革期の受験生となります。特に国公立大学を目指す人はこれまでの違いを理解して取り組む必要があります。スマホでも情報はたくさん探せます。有効活用して情報を得ましょう。私立大学を考えている人も、入試科目の設定については大学からの情報をきちんと確認しないといけません。後悔しないように早めの準備・対策をしましょう。

試験の種類	教科・科目	公表されていること・対応策
大学入学 共通テスト	情報Ⅰ	多くの国公立で必須となる。共通テスト対策が必要。配点比率は学校による。
	地歴・公民	「〇〇総合・〇〇探究」の組み合わせで選択。一般的組み合わせ➡①地理総合・地理探究 ②歴史総合・日本史探究 ③歴史総合・世界史探究 ④公共・倫理 ⑤公共・政治経済 ※志望校で組み合わせ許可されているか確認しよう
	数学②	数Ⅱ、数B、数Cが出題科目。数Bの2項目（整列・統計的な推測）および数Cの2項目（ベクトル・平面上の曲線と複素数平面）から、合計3項目の対策が必要。
国公立 個別試験	国語	試験範囲がどこまでか科目名で確認が必要。「現代の国語・言語文化（古典・漢文を含む）・論理国語・文学国語・国語表現・古典探究」
	数学	数B（統計的な推測を含むか）、数C（平面上の曲線と複素数平面を含むか）の試験範囲が大学や学部によって異なっている。
	地歴	総合科目と探究科目の両方からの出題を想定した対策が必要。上記共通テストに準ずる。

■共通テスト利用型／英語外部検定利用型など、お得なシステムを探し活用しよう■

近年の大学入試は大きく受験方式が増加しています。志望校に受験に行かず、共通テストのスコアを送って合否判定してもらう「共通テスト利用型入試」や、志望校の英語試験を（過去に合格済みの）英検の認定証で代用し、入試当日は国語と社会（または理科と数学）の試験だけを受ける「英語外部検定利用型」などが該当します。また、複数回受験できる日程選択型、受験料の割引システム、学費特待システムなどもお得に利用できますが、これらの知識は高校の先生が教えてくれるものではなく自分で志望校の要項を調べて情報を得るものです。有利な条件で入試に臨むために大事な作業となりますので、受験校リサーチに時間をかけましょう。まずは志望校のHPをこまめにチェックして情報を得る習慣をつけると良いと思います。

次号以降も、受験勉強に役立つ情報をお届けします。皆さんの学校選択のお役に立てると嬉しいです！